

2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月14日

上場会社名 プリントネット株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7805 URL https://printnet.jp
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 小田原 洋一
 問合せ先責任者（役職名） 取締役COO（氏名） 小田原 一誠 TEL 050-3734-6495
 半期報告書提出予定日 2026年4月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	4,574	1.7	319	26.5	320	26.2	216	△7.0
2025年8月期中間期	4,497	△5.5	252	36.2	253	33.4	232	300.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	44.71	—
2025年8月期中間期	48.13	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	7,856	4,400	55.9
2025年8月期	7,488	4,170	55.6

（参考）自己資本 2026年8月期中間期 4,393百万円 2025年8月期 4,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,867	7.1	620	10.2	617	9.1	373	△13.8
								77.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年8月期中間期	5,460,400株	2025年8月期	5,460,400株
2026年8月期中間期	621,554株	2025年8月期	625,154株
2026年8月期中間期	4,836,260株	2025年8月期中間期	4,832,857株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

(注) 期末自己株式数には、「従業員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式(2026年8月期中間期 250,000株、2025年8月期 250,000株)が含まれております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業的前提に関する注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間会計期間の末日現在において判断したものであります。

(経営成績の状況)

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の兆しが見られ、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大等により、株式市場においても歴史的な高値圏で推移する等緩やかな回復基調が続いております。

一方で米国の通商政策やウクライナ・中東地域をめぐる情勢など国際情勢が不安定な中、各種原材料・エネルギー価格の高騰、円安の進行、自然災害等を背景とした物価高の影響で、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社の当中間会計期間における売上高は4,574,599千円となり前年同期累計期間比(以下、「前年同期比」)76,618千円の増収、営業利益は319,678千円で前年同期比66,893千円の増益、経常利益は320,431千円で前年同期比66,581千円の増益、中間純利益は216,219千円で前年同期比16,392千円の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ネット印刷通信販売事業

ネット印刷通信販売事業の業績は以下のとおりであります。

	前事業年度 第2四半期(中間期)	当事業年度 第2四半期(中間期)	増減
印刷売上高合計	4,440,466千円	4,514,234千円	73,768千円
(内訳)大口得意先	1,339,986千円	1,266,700千円	△73,286千円
大口以外の得意先	3,100,479千円	3,247,534千円	147,054千円
新規獲得数	6,532件	6,410件	△122件
新規獲得数における広告費(1社当たり)	6,482円	6,919円	437円

ネット印刷通信販売事業におきましては、前事業年度第2四半期に比べ大口得意先の印刷売上高が減少しておりますが、前事業年度からの利益率を重視する方針を継続しており、大口以外の得意先の印刷売上高が増加していることから、結果として印刷売上高合計についても増加いたしました。

このような状況のもと、当社は2030年8月期までの中期経営計画を策定し、下記4項目を重要なポイントと定め、全社的な取り組みを進めております。

1. 旺盛なインターネット通販需要の取り込みに向け、九州第二工場(仮称)増設による生産キャパ拡大
2. 外注の内製化、原材料の削減効果により利益率のUPを図る
3. 全国の中小印刷業者の受託印刷業者としての地位確立(Win Win 関係)
4. ESG経営の推進による、全てのステークホルダーへの貢献と社会への貢献の基盤構築

また、事業戦略本部を中心に、DXPO等の展示会へ積極的に出展することにより同業者への認知度を高めたり、BtoB、BtoC顧客の双方にとって利便性の高いプラットフォーム化を進める等、新規顧客の獲得や受注増加につながる施策を進めてまいります。

なお、当中間会計期間末時点で稼働している大型オフセット印刷機は、前事業年度末と変わらず合計9台となっております。

この結果、売上高は4,529,730千円で前年同期比84,423千円の増収、セグメント利益は423,607千円で前年同期比78,500千円の増益となっております。

② その他の事業

その他の事業の売上高は44,869千円で前年同期比7,805千円の減収、セグメント利益は152千円で前年同期比1,226千円の減益となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べ192,936千円減少し、3,132,328千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が246,553千円減少したこと、原材料及び貯蔵品が47,048千円増加したこと等によるものです。

当中間会計期間末における固定資産合計は、前事業年度末に比べ560,953千円増加し、4,723,768千円となりました。その主な要因は、有形固定資産が562,061千円増加したこと等によるものです。

この結果、当中間会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べ368,017千円増加し、7,856,097千円となりました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債合計は、前事業年度末に比べ224,137千円増加し、2,719,183千円となりました。その主な要因は、買掛金が139,151千円減少したこと、1年内返済予定の長期借入金が140,504千円減少したこと及び短期借入金が620,856千円増加したこと等によるものです。

当中間会計期間末における固定負債合計は、前事業年度末に比べ86,048千円減少し、736,764千円となりました。その主な要因は、長期借入金が94,930千円減少したこと等によるものです。

この結果、当中間会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べ138,089千円増加し、3,455,948千円となりました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ229,927千円増加し、4,400,148千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が216,219千円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は55.9%となり、前事業年度末に比べ0.3ポイント増加しました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ245,242千円減少し、1,283,214千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、229,139千円(前年同期は483,584千円の収入)となりました。これは主に、税引前中間純利益334,227千円、減価償却費257,751千円の計上といった増加要因及び法人税等の支払額162,561千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、793,703千円(前年同期は163,671千円の収入)となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入27,821千円といった増加要因及び有形固定資産の取得による支出818,687千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、319,320千円(前年同期は329,633千円の支出)となりました。これは主に、短期借入金による収入1,987,520千円及び短期借入金の返済による支出1,366,664千円、長期借入金の返済による支出235,434千円等によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては、不安定な国際情勢や円安等による原材料価格の動向等、依然として不透明な状況が続くものと予測されますが、現時点において2026年8月期の通期業績予想につきましては、2025年10月14日公表の業績予想から変更はありません。今後業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当中間会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,526,957	1,280,403
受取手形及び売掛金	677,332	671,296
商品及び製品	12,875	10,690
仕掛品	22,644	28,108
原材料及び貯蔵品	844,090	891,138
その他	242,680	251,992
貸倒引当金	△1,316	△1,301
流動資産合計	3,325,265	3,132,328
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	830,404	821,482
機械及び装置(純額)	1,412,662	1,269,472
土地	1,254,530	1,254,530
その他(純額)	242,605	956,778
有形固定資産合計	3,740,202	4,302,264
無形固定資産	165,123	161,378
投資その他の資産		
投資その他の資産	266,879	262,002
貸倒引当金	△9,390	△1,876
投資その他の資産合計	257,488	260,126
固定資産合計	4,162,815	4,723,768
資産合計	7,488,080	7,856,097
負債の部		
流動負債		
買掛金	952,521	813,369
短期借入金	300,000	920,856
1年内返済予定の長期借入金	416,765	276,261
未払法人税等	184,058	134,122
賞与引当金	60,567	66,621
株式給付引当金	22,649	36,749
その他	558,484	471,203
流動負債合計	2,495,046	2,719,183
固定負債		
長期借入金	421,486	326,556
ポイント引当金	7,694	7,276
退職給付引当金	142,395	148,833
長期未払金	200,304	200,304
その他	50,932	53,795
固定負債合計	822,812	736,764
負債合計	3,317,858	3,455,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,722	815,722
資本剰余金	813,744	814,006
利益剰余金	2,877,577	3,093,797
自己株式	△375,185	△373,025
株主資本合計	4,131,858	4,350,501
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,032	43,317
評価・換算差額等合計	32,032	43,317
新株予約権	6,330	6,330
純資産合計	4,170,221	4,400,148
負債純資産合計	7,488,080	7,856,097

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	4,497,981	4,574,599
売上原価	3,493,833	3,491,432
売上総利益	1,004,147	1,083,167
販売費及び一般管理費	751,363	763,489
営業利益	252,784	319,678
営業外収益		
受取利息	540	1,579
受取配当金	1,244	2,177
受取賃貸料	5,040	4,941
その他	988	1,188
営業外収益合計	7,813	9,887
営業外費用		
支払利息	4,837	7,146
賃貸費用	1,711	1,659
支払手数料	73	202
その他	126	124
営業外費用合計	6,748	9,133
経常利益	253,850	320,431
特別利益		
固定資産売却益	—	355
保険解約返戻金	105,080	13,622
事業譲渡益	6,942	—
特別利益合計	112,023	13,977
特別損失		
固定資産除却損	0	181
特別損失合計	0	181
税引前中間純利益	365,873	334,227
法人税、住民税及び事業税	123,811	120,332
法人税等調整額	9,450	△2,324
法人税等合計	133,261	118,008
中間純利益	232,612	216,219

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	365,873	334,227
減価償却費	245,516	257,751
貸倒引当金の増減額(△は減少)	587	△7,527
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	6,053
ポイント引当金の増減額(△は減少)	544	△418
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	14,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,077	6,437
受取利息及び受取配当金	△1,784	△3,756
支払利息	4,837	7,146
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△355
保険解約返戻金	△105,080	△13,622
固定資産除却損	0	181
事業譲渡損益(△は益)	△6,942	—
売上債権の増減額(△は増加)	△40,028	14,855
棚卸資産の増減額(△は増加)	△111,856	△50,326
仕入債務の増減額(△は減少)	140,433	△139,151
前受金の増減額(△は減少)	1,708	△2,128
未払金の増減額(△は減少)	26,859	33,079
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,488	△35,610
その他	△30,126	△25,284
小計	514,104	395,650
利息及び配当金の受取額	1,784	3,756
利息の支払額	△4,942	△7,727
法人税等の支払額	△30,557	△162,561
法人税等の還付額	3,196	21
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,584	229,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△82,579	△818,687
有形固定資産の売却による収入	—	475
有形固定資産の除却による支出	—	△80
無形固定資産の取得による支出	△3,744	△2,813
事業譲渡による収入	11,539	—
敷金及び保証金の回収による収入	3,698	—
保険積立金の解約による収入	235,730	27,821
短期貸付金の増減額(△は増加)	△115	△845
その他	△858	426
投資活動によるキャッシュ・フロー	163,671	△793,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100,000	1,987,520
短期借入金の返済による支出	△1,129,000	△1,366,664
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△337,821	△235,434
配当金の支払額	△62,812	△66,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,633	319,320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	317,623	△245,242
現金及び現金同等物の期首残高	1,001,063	1,528,457
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,318,686	1,283,214

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

単位(千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間損益 計算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	4,440,466	4,440,466	—	4,440,466	—	4,440,466
資材売上高	1,085	1,085	—	1,085	—	1,085
その他売上高	3,755	3,755	52,674	56,430	—	56,430
顧客との契約から生じる利益	4,445,307	4,445,307	52,674	4,497,981	—	4,497,981
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,445,307	4,445,307	52,674	4,497,981	—	4,497,981
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,445,307	4,445,307	52,674	4,497,981	—	4,497,981
セグメント利益	345,107	345,107	1,379	346,486	△93,702	252,784

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、薬局事業等です。
 2. セグメント利益の調整額△93,702千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。
 3. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当中間会計期間(自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

単位(千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間損益 計算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	4,514,234	4,514,234	—	4,514,234	—	4,514,234
資材売上高	12,889	12,889	—	12,889	—	12,889
その他売上高	2,605	2,605	44,869	47,475	—	47,475
顧客との契約から生じる利益	4,529,730	4,529,730	44,869	4,574,599	—	4,574,599
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,529,730	4,529,730	44,869	4,574,599	—	4,574,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,529,730	4,529,730	44,869	4,574,599	—	4,574,599
セグメント利益	423,607	423,607	152	423,760	△104,081	319,678

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、薬局事業等です。

2. セグメント利益の調整額△104,081千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。

3. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。